特定非営利活動法人バランス 21
2023 年度通常総会議案書

日時　2022 年 6 月 13 日（火）　13：30 から 15：00 まで

会場　千城台コミュニティーセンター

次　　第

あいさつ

議長及び議事録署名人選出

決議事項

第 1 号議案　2022 年度事業報告

第 2 号議案　2022 年度決算報告

その他

報告事項

閉会

第 1 号議案

2022年度　事業報告（案）

1．事業の成果

2022 年度の事業成果のひとつは活動 10 周年誌の取りまとめです（刊行は 2023 年 4 月）。
この冊子は 2012 年以来の事業の成果を整理し、これを今後の活動指針として生かそうとするものです。各部門の概要を本年度の事業成果を含めて示すとつぎのようになります。

米づくりについては、雑草防除法や湧水の有効利用法などを検討し湧水利用の冬期湛水不耕起栽培法をまとめました。また、この栽培法が湧水を無駄にせず、生きものや子どもにも優しい環境をつくる、谷津田の保全活動向きの栽培法であることを確認しました。現在は、コロナ禍により深刻化した労力不足をきっかけに、田植作業を中心に作業の省力化を検討しています。

森づくりについては、森を覆い尽くしたアズマネザサの刈取りや枯損木の伐採を進めました。この間、植生調査にも継続的にとりくみ、現状の植生を基本にした今後目指すべき森林の姿と目標林型別の管理方法をまとめました。また、引き続き、こなら広場や散策路の整備を進め、子どもたちの体験に向く環境を整えています。

動植物の保護・保全については、植物や生きものの調査に継続的に取り組み「堂谷津の里」の生物相を明らかにしました。また、生きものの生息環境の保全という視点で、森や田んぼ、休耕田のビオトープ、さらにヨシやガマの湿地、堂谷津池などの環境を整備し、ヘイケボタルについては堂谷津の池からビオトープ、下の田までの広範囲に及ぶ保全計画をまとめました。あわせて自然観察エリアを設定し自然観察路や野草園の整備を進めました。

イベント事業は、当初、田植体験や自然観察会、収穫祭など単発イベントからスタートしましたが、現在では、開催期間が 7～8 か月に及ぶ大型イベント「親子で米づくりと自然の体験」も運営するようになりました。「堂谷津の里」についてはイベント参加者から「本当に自然がいっぱいで驚きました」「近くにこういう自然があってありがたいです」などの声が寄せられています。

最近は、バランス21の協力で他団体主催の体験イベントや学びの講座も開催されるようになりました。「堂谷津の里」の利用が活発になってきましたが、今後は他団体のイベントの受け入れが「堂谷津の里」の維持・発展にも繋がるよう、受け入れにあたっての考え方を整理する必要があります。

2．事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

2022 年度は、コロナ禍の終息が見通せない中、のべ 920 名の会員の参加により里山再生、イベント、調査研究事業を実施しました。各種イベントの受益者はのべ 620 人あまりでした（表1）。

「堂谷津の里」については、専門家とともに進めてきた調査研究などにより、その自然環境の特性が明らかになってきました。その効果もあって、「堂谷津の里」を学びの場として利用する他団体のイベントが増えました。今年度はバランス21の協力のもとで高校教諭や高校生対象の地層・地下水研修会、小学生の自由研究講座、自然観察指導員の現地研修会、また大学生対象の里山活動研修会等が開催されました。

バランス21主催のイベントとしては、「里山開放日（毎月第一土曜日）」の企画を今年度あらたに実施に移しました。整備の進んだ斜面林の広場などを利用して里山の自然や植林などの体験を楽しむ企画です（表1）。

「堂谷津の里」は 10 年余りの保全活動によって生まれましたが、体験と学びの場として今後も存続し続けるには、地元や地域の方々の理解や支持が欠かせません。今年度は、地元谷当町の方々へ例年行ってきた活動報告に加えて、若葉区や緑区の環境保全団体との連携強化や若葉区の自治会への情報提供に努めました。

表1　活動実績　（2022 年度）

2022/4/1～2023/3/31

事業名	事業内容	実施日時	従事者数	受益者数	実施場所
里山再生事業	米の栽培 里山林の整備 動植物の保全	毎週火曜日 毎月第1，第3土曜日	719	0	堂谷津の里
イベント事業（主催）	米づくり	5月7日（種まき）、5月28日（田植）、11月3日（収穫祭）	10	64	
	親子体験教室	5月～11月（月1回）	46	253	
	自然観察会	5月21日、7月30日、11月15日	14	67	
	里山開放	12月3日、2月4日、3月4日	9	21	
	井戸掘り体験	4月3日、7月17日、8月7日	6	12	
イベント事業（開催協力）	自然観察、里山体験	5月7日、6月4日、7月2日、7月7日、8月23日、9月25日、11月3日、12月17日、3月7日	36	147	
	地層・地下水研修会	8月8日、1月24日	2	45	
調査研究事業	モニ1000調査	通年	60	0	
	地下水調査	通年	15	0	
	コドラート調査	5月12日、11月10日（千葉県生物多様性センターと協働）	3	12	

注）バランス21が開催に協力したイベントの事業主体：千葉自然学校、NPO法人ESD-j、あーす楽園、ちば里山センター、千葉大学× 京葉銀行ecoプロジェクト、千葉市科学館、千葉県環境研究センター、日本自然保護協会

従事者・受益者数はのべ人数。　　堂谷津の里は千葉市谷津田等保全区域（若葉区谷当町）の愛称

（2）活動の実施体制

会員数は 2023 年 3 月末現在、正会員 23 名、賛助会員 25 名となっています。本年度は正会員 2 名、賛助会員 1 名の方が入会されました。会員種別の作業従事者数は正会員のべ 633 名、賛助会員のべ 287 名、作業日数は 104 日でした。

第２号議案

活 動 計 算 書

2022年4月1日から2023年3月31日まで　　（単位:円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　経常収益			
１　受取会費			
正会員受取会費	125,000		
賛助会員受取会費	50,000	175,000	
２　受取寄付金			
受取寄付金	120,963	120,963	
３　受取助成金等			
受取助成金	500,000	500,000	
４　事業収益			
イベント事業	241,667		
教育・研究調査			
里山再生事業（田んぼ）	106,000	347,667	
５　その他収益			
受取利息	5		
雑収入	127,204	127,209	
経常収益計(A)			1,270,839
Ⅱ　経常費用			
１　事業費			
(1)人件費	0		
(2)その他経費			
消耗品費	276,365		
燃料費	23,191		
印刷製本費	19,915		
保険料	67,854		
通信運搬費	11,864		
旅費交通費	160,080		
使用賃借料	41,580		
業務委託費	148,800		
備品購入費	84,893		
謝金	0		
支払手数料	770		
修繕費	18,630		
雑費	0		
その他経費計	853,942		
事業費計		853,942	
2管理費			
(1)人件費	0		
(2)その他経費			
消耗品費	17,858		
印刷製本費	3,060		
会議費	4,400		
通信運搬費	4,891		
旅費交通費	3,158		
使用賃借料	36,000		
諸会費	3,000		
研修費	65,200		
支払手数料	592		
雑費	46,458		
その他経費計	184,617		
管理費計		184,617	
経常費用計(B)			1,038,559
	正味財産増減額(C)=(A)-(B)		232,280
	前期繰越正味財産額(F)		451,547
	当期正味財産合計(G)=(C)+(F)		683,827

貸借対照表

2023年3月31日　　（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ資産の部			
1　流動資産			
現金預金	683,827		
未収入金			
前払費用			
流動資産合計		683,827	
2　固定資産合計		0	
資産合計			683,827
Ⅱ負債の部			
1　流動負債			
前受金			
未払金			
預り金			
流動負債合計		0	
2　固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産		451,547	
当期正味財産増加額		232,280	
正味財産合計		683,827	
負債及び正味財産合計			683,827

財産目録

2023年3月31日　　（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ資産の部			
1流動資産			
現金	0		
預金　千葉興業銀行	683,827		
未収入金			
前払費用			
流動資産合計		683,827	
2固定資産合計		0	
資産合計			683,827
Ⅱ負債の部			
1流動負債			
前受金			
未払金			
預り金			
流動負債合計		0	
2固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			683,827

監査報告書

特定非営利活動法人バランス２１
代表理事　斎藤　幸一 様

私は、2023 年 4 月 27 日、特定非営利活動促進法 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人バランス２１の 2022 年度(2022 年 4 月 1 日~2023 年 3 月 31 日)の業務監査及び会計監査を実施した。

これらの監査の結果、 当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、 会計処理は、一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められる。

２０２３年4月27日

監事

栗原修治

監査報告書

特定非営利活動法人バランス２１
代表理事　斎藤　幸一 様

私は、2023 年 4 月 27 日、特定非営利活動促進法 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人バランス２１の 2022 年度(2022 年 4 月 1 日~2023 年 3 月 31 日)の業務監査及び会計監査を実施した。

これらの監査の結果、 当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、 会計処理は、一般に公正妥当と認められる会計の方法によって適正に処理されているものと認められる。

２０２３年4月27日

監事　竹内 奈緒子

総会参考資料1

2023 年度特定非営利活動に係る事業計画

2023 年 4 月1日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人バランス21

1. 事業実施方針

バランス 21 の活動は今年で 12 年目に入り、堂谷津にも「谷津田の自然」が回復してきました。この間、私たちは米づくりや自然の体験など「谷津田の自然」を生かすイベントを実施してきましたが、最近は、「堂谷津の里」を高く評価する外部の団体等が増え、バランス 21 の協力でイベントを企画・運営する事例も見られるようになりました。これらのイベントは「堂谷津の里」の新たな魅力や価値の発掘に繋がる可能性がありますので、今後は、他団体の企画受け入れの考え方を整理したうえで、他団体との連携も視野に入れて「堂谷津の里」の運営を考えることが望まれます。

一方、「堂谷津の里」の将来にかかわる状況として、堂谷津周辺で進む開発（資材置き場などの増加）が悪影響を与える懸念があります。すでに、斜面林の土砂崩れなど「堂谷津の里」への直接的な影響も現れています。周辺の開発との共存は容易ではありませんが、今後は地元の皆様と市役所ならびにバランス 21 が、まずは「堂谷津の里」の公共的価値を共有し、そのうえで「堂谷津の里」の存続に向けた道を探って行く必要があると考えています。

私たちの活動が 12 年目を迎え第 2 期といえる段階に達した現在、「堂谷津の里」の自然環境の保全・活用に加えて「堂谷津の里」存続のための社会的環境の整備が重要課題となっています。

2. 事業実施計画

（1）里山再生事業

①米づくり（湿地環境の保全）

コロナ禍の影響で生じた田植の労力不足を解消するため 2020 年から 2021 年まで極疎植・早期栽培（5 月上旬田植、うね間 45 ㎝×株間 30 ㎝、基肥施用）、さらに 2022 年はコンバインの収穫作業（委託作業）のスケジュールを前提に刈り遅れを避ける極疎植・普通期栽培（6 月上旬田植、39 ㎝×30 ㎝、基肥施用）に取り組みました。その結果、極疎植・普通期栽培の実用性が示唆されましたので、2023 年は普通期・極疎植栽培の登熟と収量の向上を検討します。また、「上の田」で小規模な試験栽培にも取組みます。テーマはイネの 2 年生草化、燻炭の利用です。

②里山林の保全

・整備済み区域及び既設散策路の下草刈り等の維持保全作業を行います。（特に植樹区域

は重点的に）

・ナラ枯れによる枯死木、枯れ枝については安全確保のため散策路等を中心に伐採、枝下ろし作業を行います。 当 NPO で困難のものは専門業者に委託し若しくは千葉市に依頼します。

・その結果生じたギャップにはその場の環境条件にふさわしい樹種を植樹し、将来に向けた森づくりを進めます。

・目標林型に向け整備区域の拡大や新たな散策路の開設を可能な範囲で目指します。

③ビオトープの維持管理

湧水量などの制約で米づくりが困難な区域は湿地のビオトープ（自然と触れ合う場）として整備・維持し、「堂谷津の里」の魅力を高めます。既設の簡易木道を補修するとともに、ビオトープ区域の地下水位を高めて衰退傾向にあったガマ原を再生します。また草刈りは、オオヨシキリ、カヤネズミ、冬鳥、ホタルなどの生息環境を保ちながら、計画的に実施します。

あわせて「堂谷津の里」産のお土産になるようなセリ、フキ、ショウブ等の保護・育成を図ります。

また、ビオトープのミニ田んぼを使って古代米など、田んぼの一部を利用して千葉市の花「オオガハス」を育てます。

（2）イベント事業

今年度も新型コロナウイルスの感染拡大という不安定要素はありますが、感染対策を徹底したうえで、例年実施してきた「親子で米づくりと自然の体験」教室や米づくり、森づくり、収穫祭などのイベントを実施します。

自然観察会、ホタル観賞会など里山の魅力に触れるイベントを継続して実施します。

また、他団体と連携して「堂谷津の里」の多面的な活用に繋がる新たなイベントを企画、実施します。

（3）調査・研究事業

・モニタリング 1000 里地調査は 2 期目(2023～2027 年)、コドラート調査は、「堂谷津の里」の動植物調査に組み込んで実施、生物多様性の状況把握に努めます。

・林床整備や湿地整備などを通して、里山植物、水生植物の保護・保全に向けて取り組みます。また、里山を代表する植物の増殖も試みます。

・里山の生きものや水辺の生きものが棲める環境作りに取り組みます。ホタルは、データをもとに生息地を想定したうえで重点的、段階的に湿地環境を整え、発生状況を調査していきます。

・「自然だより」「自然観察ふしぎシリーズ」を発信、里山の魅力を伝えることに努めます。

・「食べる生き物調査」を行い、里山の可能性の掘り起しに努めます。

総会参考資料２

2023年度予算

区　分			2023年度予算	内　　容
収入の部		助成金	500,000	
		会費収入	130,000	正会員　5,000円×26名
			50,000	賛助会員　2,000円×25名
		受取寄付金	220,000	正会員等寄付
		事業収益	264,800	
		内訳コメの販売収入	90,000	
		内訳イベント	162,000	親子11家族13.2万、収穫祭3万
		内訳雑収入	12,800	保険負担400*32
		収入総額	1,164,800	
支出の部	助成対象経費	業務委託費	150,000	危険木処理費100,000コンバイン40,000井戸水検査他10,000
		旅費交通費	200,000	会員交通費補助300円＊650人日＋その他５千円
		通信運搬費	30,000	親子参加者資料送付等、10年誌送付2.5万円
		諸謝金	0	公開講座講師謝礼等
		賃借料	44,400	駐車場賃貸料30,000,HPドメイン使用料14,400
		消耗品費	250,000	インク代、コピー用紙、諸機材、肥料、育苗用培養土、シート　他
		印刷製本費	110,000	１０年誌、親子教室プリント代、自然だよりコピー代
		修繕費	20,000	刈払い機等修理代
		保険料	65,000	スポーツ・文化法人責任保険料・イベント他
		燃料費	20,000	チェーンソーオイル、ガソリン代
		支払手数料	1,000	
		備品費	100,000	草刈り機SRE2430UT48,000、発電機52,000
		小　計	990,400	
	助成対象外経費	通信運搬費	20,000	総会資料送付、監査資料送付、10年誌会員送付1.5万円　他
		消耗品費	20,000	事務用品、プリンターインク代他
		印刷製本費	13,000	総会資料印刷代3千円+10年誌試し刷り費1万円
		会議費	5,000	理事会会議室料
		旅費交通費	10,000	会議参加交通費
		研修費	15,000	自然観察研修等
		諸会費	3,000	ちば里山センター2023年度会費
		賃貸料	36,000	倉庫貸借料
		支払手数料	1,000	振込手数料等
		雑費	51,400	食糧費等
		小　計	174,400	
	支出総額		1,164,800	
収支			0	